とうえい

5月号

発行者●社会福祉法人桐栄会
●青森市浪岡大字樽沢字村元330番7
TEL　0172－62－9201
FAX　0172－62－9019
編集●広報「とうえい」編集委員会

老健 なみおか

今年は例年よりも暖かい日が続き、各地域の桜もゴールデンウィーク前には満開で見頃を迎えていました。

お花見前日は穏やかな天候に恵まれておりましたが、それが一転…

当日はあいにくの雨模様で風も強く、肌寒いお花見となってしまいました。

参加者全員が楽しみにしていたお花見でしたが、天気と同じどんより気分…。

ですが、利用者の方々には満開の桜を見て頂きたく、予定通り午前中に浪岡城址へ桜見物に行ってきました。

はじめは、シトシトと小雨も降っていましたが、徐々に天気も回復し晴れ間も見えてきました。

風は強かったのですが、見事な満開の桜を目の前にし、利用者の方の中には「奇麗だなぁ」と歓喜される姿も見受けられました。

桜を見た後は、町内をドライブ。

暖かく天気も良ければ、外で桜を楽しみながらの昼食にしたかったのですが、天候が天候だった為に施設の中での昼食となりました。

お花見弁当として、パックにおにぎりや唐揚げ・ウインナー・卵焼き、豚汁と美味しそうなおかずが勢揃い。

「めーなー。でも、お花の下で食べられないから残念」と話す方も…。

午後はおやつコーナーを設置し、芋菓子のくじを行ってもらいました。

親を当てると「やったー、親だー」と喜ぶ方もおりました。

また、饅頭やホットケーキミックスで作ったお団子に見立てた力ステラ焼き。

イチゴやキウイ、バナナを串に刺した物をチョコレートファウンテンでコーティング。

皆さん本当に美味しそうに頬張っておりました。

今年のお花見会は穏やかな天気とは言えませんでしたが、満開の桜を堪能し、お花見弁当やおやつを満喫して頂けたのではないかと思います。

来年は、コロナに怯える事もなく、穏やかな満開の桜の下で観桜会を開き、楽しんで頂けたらと思います。

N・K

慰労一時金が支給されました

昨年一月、国内で初めて新型コロナウイルス感染者が発生して以来、感染者が全国に拡大し、昨年は恒例の施設夏祭りや職員親睦旅行などほとんどの行事が取り止めとなりました。

このような中で、職員のみなさんは感染すると重症化するリスクの高い高齢者の介護サービスに昼夜を問わず従事しております。

そこで、当法人では、職員の皆様のご労苦に感謝の意を表するため慰労一時金を支給することになり、去る四月、全職員に一時金が支給されました。全国的に感染者が再び増加の傾向にありますが、今後とも気を引き締めて新型コロナウイルスの感染防止に取り組んで参ります。

（法人事務局）

事業所長へ慰労一時金を渡す中川理事長㊧

社会福祉法人 桐栄会の事業

浪岡事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホーム ゆうゆう荘
・介護老人福祉施設
・短期入所生活介護
・介護予防短期入所生活介護

◆デイサービスセンター 悠悠
・通所介護
・介護予防通所介護

◆浪岡在宅介護支援センター
・居宅介護支援

【老人福祉事業】
・浪岡在宅介護支援センター
・外出支援サービス

◎電話(代) ０１７２－６２－９２０１

常盤事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホーム ときわ
・介護老人福祉施設
・短期入所生活介護
・介護予防短期入所生活介護

◆デイサービスセンター みずき
・通所介護
・介護予防通所介護

◆在宅介護支援センター あずさ
・居宅介護支援

◆グループホームいこい
・認知症対応型共同生活介護
・介護予防認知症対応型共同生活介護

【ケアハウス】
・ケアハウスしずか

【老人福祉事業】
・在宅介護支援センターあずさ

◎電話(代) ０１７２－６９－５３３５

にしやま事業所

【介護保険指定事業】

◆介護老人保健施設 なみおか
・併設型通所リハビリテーション

◎電話(代) ０１７２－６９－１１２０

鶴ヶ坂事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホーム つるがさか
・介護老人福祉施設
・短期入所生活介護
・介護予防短期入所生活介護

◎電話(代) ０１７－７６３－１０５１

◎編集後記

広報委員会に配属してから、早や3年目の春を迎えました。

趣味のバイクで色々ツーリングに出掛け、楽しみたかったのですが、昨年の七夕に3人目のベビーが誕生したり、新型コロナの大流行もあり、悲しいことに中々行けず、しまいに1年が終わってしまいました。

今年こそは、コロナも落ち着いたら、山や海や色んな所を巡り、ツーリングを楽しみたいです。

目標は、超難関コース、酸ヶ湯から峠越えの十和田湖!! あとは、温泉が好きなので家族と温泉旅行に出掛けたれたらいいなぁ～…。

N・K

※「とうえい」掲載の個人に関する情報は、ご本人の許可を得て使用させて頂いております。

浪岡事業所

特養ゆうゆう荘　おやつ作り

2月21日、利用者の方と共におやつ作りを行いました。

甘い物が大好きな利用者の方々は、前の日から「何作るんだばー」と楽しみにしていました。

バレンタインデーにちなんで、チョコレートを使ったおやつを…。ということで、パフェを作ることにしました。

プラカップの中に小さく切ったカステラやフルーツを入れ、その上にデコレーション！ホイップクリームを絞るのは少し力がいるので職員も手伝って行いました。

仕上げはチョコソース、チョコスプレーを好きなだけかけてもらいました。

チョコレートが好きな方は、ホイップクリームが黒くなる程、チョコソースをたっぷりとかけていました。

出来上がると、「めぇなぁ。」「これだば、また食べたいな。」と笑顔であっという間に食べてしまっていました。

皆さん、次回のおやつ作りを待ちきれない様子でした。

K・K

アニマルセラピー

3月18日、約1年4か月ぶりとなるアニマルセラピーが行われました。園庭での予定でしたが、当日はあいにくの悪天候。

風除室でトンネルくぐりや、ハードル飛びなどを披露していただき、自動ドア越しに観覧する形となりました。

「わいー、めごいなぁ。」「上手だもんだ。」と、1回ごとに拍手し、2列目、3列目に座った利用者の方の中には伸び上がったり、身体を傾けたりして見ている方もいました。

最後は、ドア越しのふれいあいがあり、ドアに手を当てては「大きい犬だなぁ。」「こっちは小さくて、めんこいなぁ。おいでおいで。」などと話されていました。

「本当なら触れればいいんだけどな…。」と、残念そうな声もありましたが、久しぶりの慰問に皆さんとても楽しそうでした。

いつかまた、直接撫でたり、膝の上に乗せたりできるといいですね。

S・T

デイサービスセンター悠々　福笑い

1月25日からの1週間にわたり、毎年恒例の年始のレクリエーションである福笑いを行いました。

2人1組のペアになり、ひとりは目隠しし、もうひとりは福笑いのパーツを目隠しした方に渡し完成させていきます。

ひょっとことおかめの顔の輪郭を伝えていく事から始まり、眉やほっぺたを貼っていくのですが、見ている利用者の方々から、「右！右！」「上！左！」「そこでねくて！」など、賑やかな声があちらこちらから聞こえてきます。

貼り付けていく利用者の方は「こごでいいのが？」と手探りで場所を確認し、真剣に貼っていくのですが、周りからは笑い声が…。

完成したひょっとことおかめを見て、またまた皆さん大笑いです。

利用者の方々と一緒に楽しみ、沢山の笑顔を見られて本当に良かったです。

今年も沢山笑い、素敵な想い出を作っていきましょうね。

K・M

常盤事業所

特養ときわ　対面による面会ができるようになりました

これまで新型コロナウイルス感染防止のため、対面によるご家族との面会は制限してきましたが、このたび、透明のアクリル板で間仕切り、マイクを使用してお互いに会話ができる面会場所を玄関前に設置しました。面会の具体的な取り扱いは次のとおりですので、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

面会予約	事前に電話でのご予約をお願いします。
面会時間	午前10時から11時30分 又は午後2時から3時30分までの間、10分間とします。
面会人数	2名様までとします。
面会受付	玄関受付で面会簿に必要事項をご記入の上、検温、マスクの着用、手指消毒をお願いします。

特養ときわ　施設長

利用者の方と面会するご家族（写真手前）

デイサービスセンターみずき　紙相撲大会

3月の初め、皆で色を塗り自分で四股名を考え紙相撲のお相撲さんを作りました。

強そうな真っ赤な顔やほっぺたが赤く、まつ毛が長いかわいい顔のお相撲さん。旦那さんの名前を四股名にしたり自分の名前に〇〇の山、〇〇の海などを付けて四股名にしたりと皆さん思い思いのお相撲さんが出来上がりました。

紙相撲大会では総当たり戦の予選後に、上位2名ずつ出て決勝トーナメントを行いました。

「はっけよい、のこった」の行司の声で夢中になって土俵をスプーンで叩き、強く叩きすぎて自分のお相撲さんを倒してしまい「あー」っと残念そうに声を上げたり、一生懸命叩いてもずっと、ぐるぐる回ってばかりいてなかなか勝負が付かなかったりと、皆さん大きな声で笑いながら楽しまれていました。

行司の軍配を持ち「フレッ！フレッ！フレッ！ガンバ！ガンバ！ガンバ！」と大きな声で応援する方もいて、大変盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。

T・M

お楽しみ会

今年のお楽しみ会は「大きなだるま落とし」「輪ゴム鉄砲の射的」「千本引き」など昔の遊びを取り入れてやってみました。

赤鬼・青鬼の顔が乗った大きなダルマ落としをハンマーで力強く叩き「ポン」と上手に抜けると手を叩いて喜ぶ人、細かく優しく叩いて転ばしてしまい残念そうに声を上げる人など皆の応援を受けながら楽しく行っていました。

ゴム鉄砲の射的では、ゆっくりと狙いを定めて的を撃ち、高得点を出した人は皆さんから沢山の拍手を貰っていました。

最後には千本引きを行い、長い紐の先に付いた大きなお菓子や沢山の景品を観て、ワクワクしながら紐を引き、欲しい景品が当たると満面の笑顔で喜ばれていました。

T・M

常盤事業所

グループホームいこい　個別レクリエーション

グループホームでは、日頃から個別レクリエーションとして牛乳パック積みやお手玉を使った物、パズルや神経衰弱、かるたの他に、塗り絵や計算問題なども行っています。

先日は、牛乳パック積みとお手玉を積み上げるレクリエーションを行いました。

どちらもバランスを考えて積み上げていますが、高さが増すにつれ…

「もう上がらねね」と言う方もいれば、「あと1つ、頑張れ!!」と応援し続ける方もいたりして、職員にも緊張感が走ります。

皆様とても集中しながら普段見ることのない真剣な眼差しで積み上げていき、達成した際には皆で拍手をして喜ばれていました。

今後も利用者の方々が楽しめるレクリエーションを考えて行っていきたいと思います。

N・M

ケアハウスしずか　音楽会

4月3日土曜日、午後2時から音楽会を行いました。

職員がカラオケのマイクをセットすると直ぐに選曲し、「スタンバイOK!!」。

たまに、曲の途中で「あれ!?ここどう歌うが分がねぐなった…」となる時もありますが、他の利用者の方からの後押しもあり、そのまま共同で1曲歌い終えるのが殆どです。

初めは少ない人数で始まりますが、時間と共に利用者の方々も増えて、毎回ゆっくりとした時間を過ごしています。

この日は、終盤が近づくと欧陽菲菲の名曲ラブ・イズ・オーバーを皆で歌い「今日もおもしぇがった。来週もまだ頼むじゃぁ」と話し、皆さん笑顔で戻って行きました。

F・H

常盤事業所の新職員さん

新採用
令和3年4月1日付
石田　夕世

新採用
令和3年4月1日付
鈴木　未来歩

にしやま事業所

通所リハビリテーション　カステラ焼き作り

3月に入り、ポカポカと陽気な天気で雪解けも進み、消えていく雪に少々名残惜しい気もしますが、桜咲く季節がいよいよ到来。出会いと別れも交差する、そんな季節…ですが、首都圏中心に二度目の緊急事態宣言が発令され、新型コロナとお別れするのはまだまだ先のようです。これからも引き続き、手洗い、うがい、アルコール消毒を徹底しましょう。

さて、3月3日は桃の節句。桃の節句と言えば、ひな祭り。通所リハでは、ひな壇の壁画作りとカステラ焼き作りをしました。

まず始めに生地作りを行い、ボールにホットケーキミックス粉・卵・牛乳を入れ、泡だて器でなめらかになるまで混ぜます。

次に熱したタコ焼き器に利用者の方に生地を流し込んでもらい、中にあんこやソーセージを投入。しばらくするとディルーム全体が香ばしい匂いに包まれました。

「うわー」「いい匂いだ、何作るの?」と興味津々な様子。

焼き目がついた物からくるっとひと回し。可愛いまん丸おやつの完成☆

口に入れた瞬間「美味しいなー」「めーなー」「あどはだりしてまるな」「いいおやつだ」と沢山のお褒めの言葉を頂きました。なかでもあんこを入れたものが一番好評でした♪

またの機会に同じものを作れたらな…と思います。

M・M

にしやま事業所

老健なみおか　コロナは外～、福は内～

2月3日は節分。

季節の節目でもあり、暦上では春ですが、それまでは厳しい寒さも続いていました。

さて、2月3日当施設でも甘納豆を使っての豆まきが行われましたが、コロナの影響!?で赤鬼はいなく、今回は青鬼だけの豆まき。

どこか寂しい豆まきになってしまいましたが、鬼が登場すると利用者の方は「わー、鬼来たじゃー!」と笑顔で喜ぶ方もおりました。豆まきを終えると、美味しそうに甘納豆を召し上がっておりました。

来年こそはコロナもなくなり、3密をとらなくてもみんな触れ合えるような楽しい豆まきができればいいなぁと願っています。

コロナは外～、福は内～!!

N・K

にしやま事業所の新職員さん

中途採用
令和3年3月1日付
髙橋　慎太郎

中途採用
令和3年1月1日付
木村　峻介

新採用
令和3年4月1日付
藤田　美紀

鶴ケ坂事業所

特養つるがさか　ノーリフティングケアへの取り組み

ノーリフティングケアとは、腰痛予防と共に働きやすい職場環境を整えていこうという活動で全国的にも普及している取り組みです。

昨年度から、ノーリフティングケアについての知識を得るため、介護職員を対象に勉強会を実施してきました。

今年度は、腰痛予防委員会（ノーリフティングケア）を設置し、「スライディングシート」や「トランスファーボード」等を使用し、介護現場に取り入れていきたいと考えています。

その事により、介護職員の不安、負担が軽減され、利用者の方が安心安全に介護を受けることができるよう取り組みを進めていきたいと思っています。

N・T

車椅子寄贈

この度、「青森ヤクルト販売株式会社」様より、青森県社会福祉協議会様を通じてアルミ製車椅子1台を寄贈していただきました。

青森ヤクルト販売株式会社様は、1980年から「福祉ヤクルト」として、売上金の一部を社会貢献に充てているとの事です。

今回寄贈していただいた車椅子は、軽くて使いやすいため大切に使わせていただきます。関係者の皆様の温かな想いが込められた車椅子を寄贈していただき、本当に有難うございました。

S・Y

鶴ケ坂事業所の新職員さん

中途採用
令和3年3月1日付
林　葉子

中途採用
令和3年3月11日付
辰巳　幸子